

令和3年度 進路だより

わくわくワーク 第4号

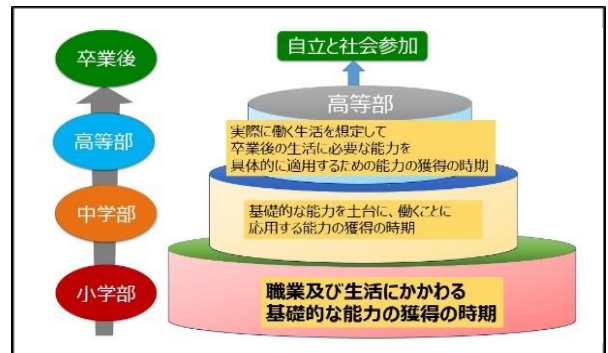
令和3年12月24日
富山県立しらとり支援学校
進路支援部

冬至も過ぎ、今年も残りわずかとなってきました。今回は、11月に行われた本校の進路支援に関する活動についてお知らせします。

「小学部進路説明会」(11月29日開催)

小学部4・5・6学年の保護者を対象に行いました。

小学部主任からは、「本校及び小学部の進路支援」や「中学部の学習」について説明しました。小学部は職業及び生活にかかわる基礎的な能力の獲得の時期であり、生活単元学習を例に挙げて「手伝いをしよう」や「あこがれの仕事をやってみよう」などの取組を紹介しました。また、中学部での進路に関する学習や作業学習等について説明しました。



①日常生活

- 一人のできることを増やしましょう
- いろいろな場所での経験を増やしましょう
- 生活リズムを整えましょう

進路支援部からは、「高等部卒業後の進路及び将来に向けて身に付けたい生活スキル」について卒業後の進路先を中心に、就業体験の映像を参考にしながら、将来に身に付けたい生活スキルを「日常生活、対人関係、職業行動、余暇」についてお伝えしました。

参加された保護者からは、「中学部、高等部の学習について理解できた。」「子供のことを改めて考える機会となった。」「作業所の仕事内容が見られたのでよかった。」などの感想が聞かれました。

「中学部進路説明会」(11月30日開催)

中学部1・2学年の保護者を対象に行いました。

中学部主任からは、本校の生活単元学習などを通じた進路学習の取組と特別支援学校高等部の入学者選抜の日程や、保護者向けの進路に関する行事予定について説明しました。

◆進路に関する行事(保護者)

	令和3年度の本校の行事	他校の学校見学会など
1・2学年	●中学部1,2学年進路説明会(本日)	●各特別支援学校高等部 学校見学会
3学年	●本校高等部体験入学(8月) ●本校高等部高等部入学者選抜のための教育相談(11~12月) ●中3保護者懇談会(12月中旬) ●高等部入学者選抜に関する保護者説明会(1,2月)	●各特別支援学校高等部 学校見学会 ●上記の学校の体験入学 ●入学検査にかかわる進路相談
全校対象	●洗心会「企業・施設見学会」	



進路支援部からは、「高等部卒業後の進路について」、「就労に向けた今後の学習」、「将来に向けて身に付けたい生活スキル」の3点について説明しました。「卒業後の進路について」では、進路支援部主任から障害福祉サービスごとの特色をお伝えするとともに、高等部の校外就業体験の様子を映像をまじえて紹介しました。

参加された保護者からは、「将来のことを考えるきっかけとなった。」や「就業体験の様子を見られてよかった。」などの感想が聞かれました。

第2回高等部就業体験（11月8日～19日）

就業体験は生徒の将来の進路を考える上で非常に大切な学習活動です。一人一人の自立と社会参加に向け、ステップアップできた体験となりました。各学年の就業体験の様子をいくつか紹介します。

1年生 校内就業体験

<内容>ペットボトル・アルミ缶潰し、新聞ごみ袋製作など

<作業の様子>

ペットボトルのキャップやラベルを外してプラスチックゴミとペットボトルに分別したり、アルミ缶とスチール缶を見分けながらプレス作業をしたりしました。新聞ごみ袋製作では、新聞紙の角を合わせて折り目をしっかり付けるようにしました。



2年生 セーナー苑 萌黄（生活介護事業所）

<内容>刺し子、アルミ缶のリサイクル、よさこい、体育館活動

<体験の様子>

アルミ缶のリサイクルでは、プレス機に缶を入れて、足で力強く踏んで潰しました。刺し子では、職員の方と一緒に印を確認して正確に針を通し、丸や三角の形を縫いました。また、よさこいや体育館活動、散歩など、職員の方や利用者の方と一緒にたくさん運動をして過ごしました。



3年生 あさがお（就労継続支援B型事業所）

<内容>楮（和紙の原料）の汚れ取り、八尾和紙の封筒折りなど

<体験の様子>

作業所の雰囲気^{まなづか}に溶け込んで、他の利用者さんと一緒に落ち着いて作業を行いました。楮の汚れ取りは、手元で楮を^{ひら}げ、汚れを見つけたらちぎって取り除くという根気のいる作業に集中して取り組みました。



3年生 SAKURA 富山センター（就労移行支援事業所）

<内容>PC研修、マナー研修、作業研修

<体験の様子>

PC研修では、タイピングソフトでの文字入力の練習や文書作成ソフトを使って文書を転記する練習をしました。

マナー研修では、挨拶や身だしなみについてグループワークも交えながら講義を受けました。作業研修ではピッキングというリストに従って商品を集める作業の練習をしました。



就業体験を終えて

就業体験では、事業所の方に評価表を記入していただいています。事業所が記入された内容の一部を紹介します。

評価できる点

- ・一つの工程を理解するまでに時間がかかりますが、理解すると正しく作業をすることができています。
- ・何でも挑戦する前向きな姿勢がたくさん見られました。



今後の課題

- ・支援者と適切な距離感をもち、丁寧な言葉遣いができるようになるとういと思います。
- ・休憩時間と作業時間との区別をつけることができるとよいと思います。

就業体験を通して卒業後に必要なことを知り、生徒一人一人の課題について学校と家庭で連携し支援していきたいと思います。